

2018年5月30日

京王プラザホテル ニュースリリース

 京王プラザホテル フィーチャー100
 ～おもてなしの裏側にある、ちょっといい話～

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：山本護）は、2021年に開業50周年を迎えます。そこで、世界各国からお客様をお迎えし、心に寄り添うサービスを提供するホテルとして私たちのおもてなしに秘められたエピソードを100回シリーズでお届けしてまいります。

■VOL. 29 「マンスリーカクテル」は若手バーテンダーの登竜門

実力派バーテンダーを数多く擁し、名だたる大会で優勝バーテンダーを輩出してきた京王プラザホテルのバー。その強さの秘密は、館内複数のバー・ラウンジでお楽しみいただける月替わりの創作カクテル「マンスリーカクテル」にあります。バーテンダーが「今月のお飲物」としてオリジナルカクテルの発表を始めたのは、開業間もない1972年10月のこと。以来、ホテル独自の文化として、毎月腕を競い合いながら数多くのオリジナルカクテルを誕生させてきました。



「マンスリーカクテル」はスタート当初も現在も、月に1作品だけが採用される狭き門。この創作者になることは若手バーテンダーたちの最初の目標でもあり、閉店後のカウンターで夜ごと試作を重ねる姿はホテル内の伝統にもなっています。こうしたオリジナルカクテルへのチャレンジが、バーテンダーとしてのレベルアップにつながっているのです。

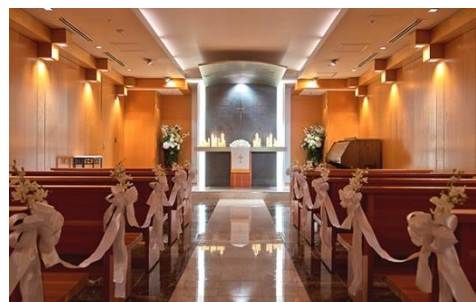


1981年からは年間テーマを設定しており、「世界一周」や「記念日」、「誕生石」など個性あるテーマは毎年バーテンダーたちの創作意欲をかきたて、選ばれたカクテルは月々のホテル会報誌に写真入りで紹介されています。京王プラザホテルでしか味わえない渾身の一杯を、ぜひお楽しみください。

■VOL. 30 ホテルウェディングの歴史は「プラザチャペル」から始まった

純白のドレスに身を包み、父親に導かれてゆっくりと踏みしめるバージンロード。参列する人々のあたたかな祝福がチャペル内に満ちてゆく…。今ではホテル内にチャペルがあることもすっかりおなじみですが、その始まりは京王プラザホテルでした。

1975年9月、日本の都市型ホテル内に常設された初のチャペルとして「プラザチャペル」をオープン。教会式の挙式といえば教会堂や聖堂しかなかった当時、それは画期的な出来事でした。これからはチャペル式婚礼の人気の高まるという時代のニーズに先駆けたマーケティング感覚と、たとえ足元の良くない日であってもホテル内にチャペルがあればお年を召したゲストの方々の移動がより便利にスムーズになるというお客様目線の思いやりから生まれた「プラザチャペル」。その厳かでクラシカルな雰囲気はいつの時代も変わることなく愛され続け多くのかげがえのない誓いの時をお手伝いしてきました。木をぬくもりのある荘厳な空間に美しく響くオルガンやチェロの音色とやわらかな光。現在も、多くのお客様を魅了するクラシックチャペルはホテルウェディングの歴史を見つめてきた証人でもあるのです。



本件に関するお問合せ先：

株式会社京王プラザホテル 営業戦略室 企画広報 斎藤 潤子・小田 力・斎藤 直子・石川 綾子

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 www.keioplaza.co.jp

Tel 03-5322-8010 Fax 03-3346-2479